令和６年度

事　業　報　告

社会福祉法人　津市社会福祉協議会

目　次

■　はじめに　・・・

Ⅲ　生活支援事業

１　日常生活自立支援事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２９
２　生活福祉資金貸付事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３０
⑴　生活福祉資金貸付事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３０
⑵　生活福祉資金特例貸付事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３０
３　自立相談支援事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３１
４　家計改善支援事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３５
５　成年後見サポートセンター事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３５

Ⅳ　介護サービス事業

１　訪問介護事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３８
２　障がい者居宅介護等事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３８
３　居宅介護支援事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３９
４　地域包括支援センター事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３９
５　要介護認定調査事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４０

はじめに

少子高齢化が進み、単身世帯の増加等により社会構造が変化している中、価値観やライフスタイル、コミュニティのあり方も変化し、地域との繋がりの希薄化や生活課題の複雑・多様化が進んでいます。

令和６年度についても、事業方針として、「ささえあい　ともに生きる　地域づくり」を掲げ、地域住民、地区社会福祉協議会（以下、「地区社協」という。）、民生委員児童委員協議会、福祉関係団体等と連携・協働し、各種事業に取り組みました。

そして、災害ボランティアセンターの基盤整備や、様々な課題を抱える地域住民への支援を行いました。

また、実施事業の課題や方向性、社会課題解決について協議を行い、「中期活動指針」にまとめる取組みを進めました。

経営面においては、経営基盤の強化と事業の充実を図るため、津市との継続的な協議を進めました。事業の受託化等により社会福祉基金の取崩しは減少しましたが、法人全体の収支については、厳しい状況が続いています。

以下、令和６年度の事業計画に掲げた重点目標や事業区分ごとの取組みについて報告します。

重点目標

１　経営基盤の強化

安定的かつ効果的な地域福祉の推進と持続可能な経営基盤の構築を図るため、職員体制の見直しや、津市との補助金・委託金についての協議、また業務の効率化・事務費の精査等、各種の経営改善に係る取組みを進めました。

新たに地域福祉活動推進事業を受託したこと等により、今までの財源であった社会福祉基金の取崩しは減少しました。

２　４つの圏域の特徴を活かした地域福祉活動の推進

重層的に構成されている地域の各圏域を４つに分類（第１圏域：津市全域、第２圏域：１０地区、第３圏域：小学校区、第４圏域：自治会エリア等の身近な地域）し、それぞれの圏域の特徴を活かした福祉団体の支援体制づくりに取り組みました。

また、地区社協等の団体内で事務を担うことが難しくなってきていることから、住民の「地域を良くしたい」という意欲と創意を直接的な福祉活動に最大限活かしていただけるように、団体の支援ニーズを充足する活動に取り組みました。

３　災害に備えた取組みの強化

災害発生時に、本会が災害ボランティアセンターを円滑に運営できるように、津市及び三重県社会福祉協議会と連携・協働した災害ボランティアセンター設置運営訓練を行いました。さらに、災害ボランティア研修会を開催するとともに、津市災害ボランティアセンターマニュアルの改訂作業や関連資機材の整備等、災害ボランティアセンターの基盤整備に取り組みました。

また、三重県内の社会福祉協議会との連携・協働を深めるとともに、能登半島地震被災地（輪島市）へ本会職員を継続して派遣し、被災地支援を行いました。

４　相談支援体制の充実

高齢者や障がい者、生活困窮者等の様々な福祉課題・生活課題に対応し、地域住民の生活を支えるため、保健・医療・福祉・法律等の専門機関等、また地域の福祉団体等と連携・協働し、課題解決に繋がる支援に努めました。

また、ケース検討会議や各種研修等への参加を積極的に行うことで、相談支援体制の強化と専門性の向上を図りました。

事業報告

Ⅰ　法人運営事業

１　法人運営【重点目標１関係】

法人の意思決定や合意形成の場として、理事会・評議員会をはじめ、各種会議を開催して協議・決定を行い、円滑な法人運営に努めました。

また、法令等の改正に対応した本会規程等の改正を行い、その他の規程等についても適宜見直しを行うことにより、法令遵守に努めました。

財務面においては、新たな受託事業の実施や、本会の主な財政援助元である津市との協議による受託事業に係る算定根拠の見直し等を行いました。

（１）法人運営事業

ア　理事会・評議員会等の開催

法人としての意思決定や合意形成の場である理事会及び評議員会等の開催により、法人の業務執行に関する事項を協議・決定しました。

理事会の開催

回数	開催日	開　催　場　所
第１回	4 月 23 日㈫	開催を省略し書面による同意を得ることにより、決議があったものとみなされたもの（左記は決議があったものとみなされた日）
第２回	6 月　5 日㈬	津センターパレス
第３回	9 月 12 日㈭	津センターパレス
第４回	12 月　9 日㈪	津センターパレス
第５回	12 月 27 日㈮	開催を省略し書面による同意を得ることにより、決議があったものとみなされたもの（左記は決議があったものとみなされた日）
第６回	3 月 13 日㈭	津センターパレス

※各理事会の審議事項及び出席者数は、巻末資料のとおりです。（Ｐ４１～４３）

評議員会の開催

回数	開催日	開　催　場　所
第１回	5 月 27 日㈪	開催を省略し書面による同意を得ることにより、決議があったものとみなされたもの（左記は決議があったものとみなされた日）
第２回	6 月 25 日㈫	津市津南防災コミュニティセンター
第３回	9 月 26 日㈭	津市津南防災コミュニティセンター
第４回	12 月 23 日㈪	津センターパレス

第５回	３月 24 日㈪	津センターパレス

※各評議員会の審議事項及び出席者数は、巻末資料のとおりです。（Ｐ４３）

評議員選任・解任委員会の開催

回数	開催日	開催場所	審議事項
第１回	６月 18 日㈫	津センターパレス	・社会福祉法人津市社会福祉協議会評議員の選任について

監事会、内部監査の開催

監査名	開催日	開催場所	監査事項
監事監査	５月 21 日㈫	津センターパレス	・令和５年度事業及び会計決算の監査について

イ　財政の健全化

（ア）会員の加入促進による自主財源の確保

貴重な自主財源である会費について、関係事業者及び各種福祉団体に対し、会員募集のチラシを配布する等、周知・依頼を行い、加入促進を図りましたが、前年対比で会員数はわずかな減少となりました。個人、団体等を合わせ６３４件（前年度実績６５７件）の賛同を得て、会費納入金額は１，３２１，０００円（前年度実績１，３９１，０００円）であり、社協だよりの発行、食料支援事業及びボランティアセンター事業等の財源に活用しました。

会員と会費の状況

	件数	金額
個人	４４３件	５０９，０００円
団体・法人	１９１件	８１２，０００円
合計	６３４件	１，３２１，０００円

（イ）各種基金・積立資産の安全な運用

津市社会福祉協議会資金管理及び運用基準に基づき、大口定期貯金及び地方債等により、元本保証性を最優先とした資産運用に努めました。

ウ　人材育成

階層別研修については、令和６年度職員研修年間計画に基づき、入社後５年未満の職員と昇格した職員に対する研修として、内部研修及び三重県社会福祉協議会の実施するキャリアパス対応生涯研修に参加し、職員の資質向上に努めました。

ここ数年実施していなかったハラスメント研修を実施し、職場のハラスメントの正しい知識を再確認することができました。

階層別研修

研修名	開催日	開催場所	内容、参加者数
新任職員研修	4月1日(月) ～3日(水)	津センターパレス	・就業心得、組織体制等について ・会計の概要と予算管理について ・地域福祉事業について ・生活支援事業について ・介護保険サービス事業について 内部講師：総務課・地域福祉課・生活支援課・介護サービス課職員 （参加者数：職員６人）
	5月1日(水) ～7日(火)	津センターパレス	・就業心得、組織体制等について ・会計の概要と予算管理について ・地域福祉事業について ・生活支援事業について ・介護保険サービス事業について 内部講師：総務課・地域福祉課・生活支援課・介護サービス課職員 （参加者数：職員１人）
	4月　5日(金)	オンライン開催	・新入社員基礎研修 講師：百五総合研究所講師 （参加者数：職員５人）
	7月25日(木)	三重県人権センター	三重県人権センター常設展示業務専門員による説明他 （参加者数：職員６人）
	11月13日(水)	津市久居総合福祉会館	・テーマ「福祉の町づくり～自分たちの役割って何だろう～」 内部講師：主事４年目職員 （参加者数：職員７人）
一般職員研修Ａ （主事Ａ）	8月27日(火)	津センターパレス	・職員の基本姿勢について 内部講師：総務課長 （参加者数：職員３人）

一般職員研修Ａ（主事Ｂ）	7 月 31 日㈬	津センターパレス	上記 11 月 13 日㈬の新任職員研修の講師を務める。 （参加者数：職員３人）
一般職員研修Ａ	7 月 23 日㈫ ～24 日㈬	三重県社会福祉会館	・三重県社会福祉協議会のキャリアパス対応生涯研修課程「初任者コース」を受講 （参加者数：職員２人）
一般職員研修Ｂ	9 月 10 日㈫ ～11 日㈬	三重県社会福祉会館	・三重県社会福祉協議会のキャリアパス対応生涯研修課程「中堅職員コース」を受講 （参加者数：職員２人）

専門研修、集合研修

研修名	開催日	開催場所	内容、参加者数
専門研修	6 月 17 日㈪	津市久居総合福祉会館	・人事考課の責務について ・人事考課の手順について ・人事考課のケーススタディ、グループワーク 講師：百五総合研究所 皆川素一郎　氏 （参加者数：職員２２人）
専門研修	7 月　5 日㈮	津市サンヒルズ安濃	・カスタマーハラスメントの対応について ・ロール・プレイ他 講師：南新町法律事務所 伊藤正朗　氏 （参加者数：職員３６人）

その他の研修

研修名	開催日	開催場所	内容、参加者数
ハラスメント研修	9 月 18 日㈬	津センターパレス及びオンライン研修	・ハラスメント防止について 講師：三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」　宮田真樹氏 （参加者数：職員１２人） ※その後、各部署にて伝達研修を実施
普通救命講習	11 月 13 日㈬ 11 月 22 日㈮	津市久居消防署及び津市久居総	・応急手当、心肺蘇生法及び自動体外式除細動器（ＡＥＤ）使用

	12 月 10 日㈫ 12 月 19 日㈭	合福祉会館	方法について （参加者数：職員７４人）
安全運転講習	7 月 30 日㈫	津センターパレス及びオンライン開催	・安全運転に関する講話及び制度改正について （参加者数：職員１２人） ※その後、各部署にて伝達研修を実施

エ　情報公開の実施状況

社会福祉法人津市社会福祉協議会情報公開に関する規程に基づく、令和６年度の情報公開の申請及び開示状況は、以下のとおりです。

（単位：件）

	申請	全部開示	一部開示	不開示
件数	0	0	0	0

（２）地域福祉活動事業

津市における地域福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的として、以下の事業に取り組みました。

ア　市内１０箇所の拠点における福祉相談窓口の設置

市内１０箇所に拠点を構え、住民や地域福祉を推進する団体がいつでも気軽に相談できる窓口機能を担いました。福祉に関する多様な相談を受け付け、解決に向けた助言や支援の実施、社会資源や関係機関の紹介等を通して、住民が安心して暮らすことのできる地域づくりを進めました。

イ　津市地区社協連絡協議会、地区社協活動への支援【重点目標２関係】

地区社協相互の情報交換や活動の推進に取り組む津市地区社協連絡協議会の運営及び活動を支援しました。特に、津市地区社協連絡協議会の創設１０周年記念誌の発刊についての支援も行いました。

また、地域の特性に応じた福祉活動に取り組む津市内４３の地区社協の支援を行いました。

ウ　津市民生委員児童委員連合会、地区民生委員児童委員協議会活動への支援【重点目標２関係】

津市民生委員児童委員連合会の事務を支援するとともに、三役会、会長会議及び研修会等に参加・協力し、情報共有と連携強化に努めました。

各地区民生委員児童委員協議会に対しては、定例会等に参加し、地域の生活課題や福祉活動の状況等について情報共有を行い、相互に連携を図りながら、地域福祉活動の推進に努めました。

また、津市民生委員制度創設１００周年を記念した式典やポスターコンクール、津市内の小学生を対象とした出前授業の実施等、民生委員・児童委員活動

の周知啓発についての支援も行いました。

エ　津市老人クラブ連合会、地区老人クラブ連合会活動への支援【重点目標２関係】

津市老人クラブ連合会については、「会員の減少」という課題解決に向けた取組みやグラウンドゴルフ大会の開催、「老連だより」の発行を中心に事務の支援を行いました。

オ　その他の福祉団体活動への支援【重点目標２関係】

地域を基盤とした福祉団体の活動を支援するとともに、連携・協働し、地域福祉の推進に取り組みました。

カ　赤い羽根共同募金運動への支援・協力

社会福祉法人三重県共同募金会を支援し、津市共同募金委員会が実施する「赤い羽根共同募金運動」に協力しました。

各家庭からの戸別募金をはじめ、企業や事業所からの法人募金、官公庁や企業の職員からの職域募金、小・中学校、高等学校等における児童・生徒からの学校募金、商業施設や駅前等での街頭募金等、様々な形で多くの方々の御支援をいただきながら運動を行いました。

津市全体としての目標額にはわずかに届かなかったものの、令和元年度以来５年ぶりに３８，０００，０００円を超える募金実績額となり、達成率も令和２年度以降最高値となりました。

また、令和４年度に締結した「カーボンニュートラルの実現に向けた羽毛製品リサイクルの推進に関するパートナーシップ協定」を踏まえ、羽毛製品のリサイクルに係る収益金の一部が募金される「UMOUプロジェクト」を継続して推進しました。

令和６年度赤い羽根共同募金運動の実績

目標額	３８，５８９，１００円
実績額	３８，０１２，８８９円（達成率　９８．５１％）

運営委員会の開催

回数	開催日	協議事項
第１回	6 月 19 日㈬	・会長・副会長の選任について ・令和５年度決算書について ・令和６年度予算書について ・審査委員会について ・令和７年度充当津市共同募金配分助成金について
第２回	8 月 26 日㈪	・令和６年度津市共同募金委員会目標額について ・令和６年度津市共同募金委員会運動計画について ・三重県の共同募金の状況と近年の共同募金の動きについて
第３回	3 月 5 日㈬	・令和６年度実績報告について

審査委員会の開催

会議名	開催日	協議事項
津市共同募金委員会 審査委員会	6 月 28 日㈮	・申請内容の審査について ・審査結果、意見について ・評価票等の確認

監査の開催

会議名	開催日	監査事項
津市共同募金委員会 監査	4 月 19 日㈮	・令和５年度津市共同募金委員会会計監査

２　広報・啓発事業

（１）社会福祉大会

多年にわたり社会福祉事業に尽力された個人や団体･企業の顕彰と記念講演を津市との共催で開催しました。

また、障がい者支援事業所等の協力を得て、利用者の作品等のブースを設け、障がい者支援事業所等の啓発と障がいへの理解を図りました。

開 催 日：１月２３日㈭

開催場所：津市白山総合文化センター

参加者数：３５７人

記念講演：演題　「健康と笑い～人生１００年時代　楽しく・おもしろく～」

講師　ＮＰＯ法人健康笑い塾®　主宰 中井 宏司 氏

顕彰内容

区分	区分	顕彰数
市長表彰	民生委員・児童委員功労者	１人
	社会福祉活動功労者	２人
	社会福祉活動優良団体	１団体
会長表彰	民生委員・児童委員功労者	１人
	社会福祉活動功労者	２４人
	社会福祉活動優良団体	６団体
市長感謝	社会福祉事業協力援助者	７団体・企業
会長感謝	社会福祉事業協力援助者	１４団体・企業

（２）福祉啓発事業

津市内の各地域で行われるイベント等において、異世代間の交流や本会事業の紹介、赤い羽根共同募金の啓発等に努めました。

地域名	参加事業	主な内容
津	津まつり	共同募金啓発（ガラポン抽選くじ）及び本会事業啓発（ウェットティッシュ、クリアファイル配布）
	コープみえ子育てフェスタ	ボランティア基金の啓発（ガチャガチャ、わなげ）
	コープみえ２０２４わくわくスマイルフェスタ	共同募金啓発（わなげ）
	南が丘「ふれあいまつり」	共同募金啓発及び本会事業啓発（缶バッジづくり）
	雲出フェア、藤水フェスタ、高茶屋地区ふれあい元気まつり	共同募金啓発及び本会事業啓発（抽選会ゲーム）
	高野尾ふれあいまつり	トートバックづくり及び地域の好きなところ・将来の夢についてのワーク
	津市渋見町防災訓練	ガラスの飛散体験及び車いすの使用に関するブースの出展
	つ・環境フェスタ	共同募金啓発（ＵＭＯＵプロジェクト）及び本会事業啓発（子育て支援事業、食料支援事業）
久居	久居まつり	共同募金啓発（お菓子釣りゲーム、缶バッジづくり）及び本会事業啓発（高校生ボランティア参加）
河芸	カムカムフェスタ２０２４	共同募金啓発（エコバック制作体験、バルーンアートコーナー等）及び本会事業啓発（ボランティア参加）
	フェスタｉｎかわげ	共同募金啓発（缶バッジづくり）及び本会事業啓発（ボランティア参加）
芸濃	けんこう・ふくし@ふれあいまつり	共同募金啓発（お菓子すくい、オリジナルバックづくり）
美里	たつみずフェスタ　収穫祭	共同募金啓発及び本会事業啓発（お菓子釣り）
安濃	子育て支援センターのクリスマスイベント	共同募金啓発及び本会事業啓発（千本引き、的当てゲーム、塗り絵コーナー、古本バザー、バルーンアート）
香良洲	ふれあいのかおり	共同募金啓発（ガチャガチャ、ダーツ、わなげ）及び本会事業啓発及び本会事業啓発（パネル展示）

	地域福祉交流会	本会事業啓発（終活、エンディングノート）
一志	フレイル予防における周知啓発事業	本会事業啓発（チラシ配布）及びフレイル予防啓発（認知症予防教室、転倒予防教室）
白山	２０２４ふれ愛フェスタｉｎ白山	共同募金啓発及び本会事業啓発（ゲームコーナー、クイズ、缶バッジ・マグネットの作成、福祉子育てブース）
美杉	みすぎ秋まつり	共同募金啓発及びイエロースマイルプロジェクト啓発（ゲームコーナー、綿菓子づくり）

（３）広報・啓発事業

広報誌の発行（春号・夏号・秋号・新春号・臨時号の年５回）、ホームページの活用により、地域の福祉活動や本会の事業に関する情報を幅広く提供しました。

また、ＳＮＳ（ソーシャルネットワーキングサービス）による情報発信に着手し、画像や動画による啓発を行いました。

Ⅱ　地域福祉事業

１　地域福祉推進事業

（１）小地域福祉活動支援事業

地域の課題に合わせて小地域における福祉活動がより推進されるように、以下の取組みを行いました。

また、企業、団体との関係性を構築し、地域課題解決に向けての取組みを支援しました。

地域名	取組事業	主な内容
津市 全域	ひとり親家庭食料配付及び生活相談事業 実 施 日　12 月 10 日㈫ 12 月 12 日㈭ 12 月 13 日㈮ 実施方法　郵送又は手渡し	ひとり親家庭への支援を目的に、津市地区社協連絡協議会と共催し、企業や津市母子父子寡婦福祉会等の団体、ボランティアの協力を得て、市内のひとり親家庭３５０世帯へ食料品セットをお届けするとともに、相談受付を実施しました。
久居	子ども学習会「まなびば」 開 催 日　8 月　8 日㈭ 12 月 27 日㈮ 開催場所　津市久居総合福祉会館	学生ボランティアによる子どもたちの学習支援と居場所づくりとして、子ども学習会「まなびば」を久居地区民生委員児童委員協議会と協働して開催しました。 （参加者数：延８２人）
河芸	フレイル予防教室 開 催 日　3 月　3 日㈪ 3 月 13 日㈭ 開催場所　一色区住民センター、影重公民館	「フレイル予防が防災力を高める」と題し、豊津地区の２か所において高齢者のフレイル予防を目的とした教室を開催しました。 地理的に、津波被害が懸念される地区であり、災害時にも対応できる健康維持、体力づくりにむけたフレイル予防体操を通じ、自助について考える機会としました。 （参加者数：延２７人）
芸濃	芸濃地域のふくしを考える会 開 催 日　2 月 20 日㈭ 開催場所　津市芸濃庁舎	芸濃地域の福祉を推進するため、関係団体・機関等が集まり、専門部会と全体会を通じ、話し合いを進めました。 今後も芸濃地域における課題や悩みを共有し、互いの活動を理解し合いながら連携していくことを確認しました。 （参加者数：２６人）

	サロンネットワーク会議 開 催 日　2 月 28 日㈮ 開催場所　津市芸濃庁舎	芸濃地域のサロン活動推進とネットワーク強化を目的に、関係者を対象とした会議を開催しました。 サロンメニューとしても活用できる「絵手紙」を取り入れた講座により、参加者がサロン活動のヒントを得る機会となりました。 （参加者数：１３人）
美里	サロン交流会 開 催 日　3 月 13 日㈭ 開催場所　津市美里社会福祉センター	美里地域のサロン活動推進とネットワーク強化を目的に、関係者を対象とした交流会を開催しました。 認知症予防の効果も期待し、サロンメニューとしても活用できる「粘土で小物づくり」をテーマに交流を図りました。 （参加者数：６人）
安濃	みまもり研究会あのう 開 催 日　5 月 10 日㈮ 7 月 19 日㈮ 9 月 13 日㈮ 11 月　8 日㈮ 1 月 10 日㈮ 3 月 14 日㈮ 開催場所　津市サンヒルズ安濃	安濃地域の見守り活動を推進するため、関係団体・機関等が集まり、協議・情報交換を行う場である「みまもり研修会あのう」を支援しました。 安心相談カードの普及と安濃地域の繋がりの強さを活かしたＳＯＳを発せられるしくみづくりを今後も継続していくことを確認しました。 （参加者数：延１３６人）
香良洲	サロン交流会 開 催 日　2 月 21 日㈮ 開催場所　津市サンデルタ香良洲	香良洲地域のサロン活動推進とネットワーク強化を目的に、関係者を対象とした交流会を開催しました。 サロンでできるレクリエーションの他、レクリエーショングッズの体験会も取り入れました。 （参加者数：１７人）
一志	地域や福祉を語り合う場づくり 開 催 日　8 月 20 日㈫ 12 月 16 日㈪ 開催場所　津市とことめの里一志	一志地域における関係機関・支援者が集まり、「保健（医療）」「福祉」「地域」分野で支援者それぞれの強みを活かしながら連携を深め、「個別支援」から「地域支援」に向けて取り組んでいくために「一志地域支援ネットワーク関係者会議」を開催しました。 また、一志地域の社会資源や地域活動の「見える化・見せる化」について取り組

		み、マップづくりや各活動の啓発パネルを作成し、関係機関・団体との課題共有及び地域住民への情報発信を行いました。 （参加者数：延１６人）
	地域を支える人（応援団）づくり 開 催 日　9 月 27 日㈮ 3 月 10 日㈪ 開催場所　津市とことめの里一志	地域福祉の応援団をつくる基盤づくりとして、行政や自治会、福祉団体等関係機関・団体が一堂に会し、地域分析及び課題の抽出、今ある資源、これから必要な資源を見出し、目指す地域像を描く機会として、「人がつながるフレイル予防からの場づくりを考える会」を開催しました。 また、一志地区社協主催の「地域福祉活動展」へ参画し、「ふれあいいきいきサロン」「子育て」「健康（フレイル予防）」「介護」「福祉」「地域」それぞれのテーマで活動する団体（人）と関わり、団体同士のネットワーク強化に繋がりました。 （参加者数：延９１人）
	人がつながる居場所づくり	「サロンの継続」と「新たな居場所づくり」を地域課題とし、定期的な「ふれあいいきいきサロン通信」の発行（年間４回）やフレイル予防に係るチラシや啓発パネルを作成し、広く周知しました。
白山	地域福祉活動検討会 開 催 日　4 月 18 日㈭ 7 月 12 日㈮ 10 月　2 日㈬ 12 月 13 日㈮ 2 月 17 日㈪ 開催場所　津市白山保健福祉センター	地域の福祉課題把握のためのアンケート調査から明らかとなった地域課題について、関係機関・団体が解決のための協議を行いました。 （参加者数：延１０６人）
	サロン交流会 開 催 日　2 月 25 日㈫ 開催場所　津市白山保健福祉センター	白山地域のサロン活動推進とネットワーク強化を目的に、関係者を対象とした交流会を開催しました。 サロンの年間計画を立てることに対して、負担を感じるというサロンリーダーからの声を受け、ボードゲームを取り入れたメニューや講師一覧の紹介、参加者

		同士の情報交換等を行いました。 （参加者数：３０人）
	合同研修会 開 催 日　2 月 20 日㈭ 開催場所　津市白山保健福祉センター	地域包括ケア・見守りネットワークの構築を目的に、民生委員を対象として、車いすや見え方・聞こえ方の疑似体験を通じ、「誰もが暮らしやすい地域づくり」について考えるための研修会を実施しました。 （参加者数：３３人）
	脳トレプリント冊子の作成による見守り活動の推進	地域に根付きつつあるゆるやかな見守り活動を継続、推進し、何歳になっても暮らし続けられるような地域づくりを目指し、「脳トレでみんなが津ながる・地域が津ながる」と題した脳トレプリント冊子をボランティアの協力を得て、定期的（年１１回）に作成しました。 作成した冊子は、見守り活動関係者による配布や商店等への設置を通じ、見守り活動を推進しました。
美杉	障がい者との交流会 開 催 日　12 月 20 日㈮ 開催場所　津市美杉高齢者生活福祉センター	障がい者への理解促進を図るため、就労継続支援Ｂ型事業所の利用者と生活支援ハウス入居者を対象に交流会を行いました。 （参加者数：１５人）
	熱中症予防大作戦 開催期間　6 月 20 日㈭ ～9 月 30 日㈪	地区社協や消防署と協力し、啓発チラシと冷感タオルを配布し、熱中症予防を呼びかけ、高齢者の熱中症リスクの低減を図るとともに、地域の住民同士で声掛けが行われるように啓発しました。
	サロン交流会 開 催 日　2 月 28 日㈮ 開催場所　津市美杉高齢者生活福祉センター	美杉地域のサロン活動推進とネットワーク強化を目的に、関係者を対象とした交流会を開催し、サロンでできる体操や健康に関する講話を実施しました。 （参加者数：２５人）
	イエロースマイルプロジェクト 実施期間 10 月 21 日㈪～11 月 14 日㈭	「介護の日」を切り口に、自宅等で介護をしている方や、地域で助けあいをしている方に感謝の気持ちを手紙にして贈る取組みを啓発しました。

（２）地域福祉活動計画

ア　事務事業評価の実施

第３次津市地域福祉活動計画の期間満了にともない、事務事業評価によって総括的評価を行いました。

実施時期：令和６年３月末

評価事業区分：４１事業区分

主な評価項目：目標値に対する実績、成果、課題

イ　津市地域福祉活動計画策定推進委員会の開催

本計画の総括的評価を行うため、津市地域福祉活動計画策定推進委員会を開催しました。

開催日	事項等
８月９日㈮	・令和５年度津市地域福祉活動計画事務事業評価及び第３次津市地域福祉活動計画総括的評価について ・今後の事業推進について

（３）要援護者対策地域見守りネット活動事業（津市受託）【重点目標２関係】

７０歳以上のひとり暮らし高齢者等に対し、地区社協を通じて、絆のバトンの配付及び継続的な見守り活動を行うことで地域福祉活動の推進を図りました。

ア　事業の実施

３４地区社協（北立誠、南立誠、敬和、養正、修成、育生、新町、南が丘、白塚、栗真、一身田、津西、片田、神戸、藤水、高茶屋、雲出、大里、高野尾、豊が丘、榊原、栗葉、戸木、桃園、成美、誠之、芸濃、美里、草生、村主、安濃、明合、香良洲、一志）で実施されました。令和６年度より新たに成美地区社協が本事業を開始しました。利用者数は、令和５年度より３２３人増え、５，８３５人となりました。

イ　絆のバトン説明会

地域における見守り活動の必要性について理解を深めていただくため、地域の依頼に応じて説明会や研修会を１９回開催し、３８９人の参加がありました。

ウ　地域見守り推進研修会

地域住民、地区社協関係者、民生委員・児童委員等を対象に、地域見守り推進研修会を開催しました。支えあいの意味や見守られ活動に対する理解を深め、地域福祉活動の活性化を図りました。

また、本事業の説明を行い、津市消防本部との連携内容、救急情報用紙の取扱いやその注意点等の周知啓発を行いました。

開催日	開催場所	内容、参加者数
８月９日㈮	津市美里社会福祉センター	・テーマ「『見守り活動』から『見守られ活動』へ　～自分の地域を考える」 講師：ご近所福祉クリエーター 酒井　保　氏 （参加者数：１１７人）

（４）声の広報等発行事業（津市受託）

津市在住の視覚に障がいがある方等を対象に、社会活動への参加及び自立を促進するため、ボランティアグループ「津朗読会」の協力を得て、日常生活に関する情報をＣＤに録音し、声の広報を希望される方に配付しました。配付することにより、視覚に障がいがある方へ地域の情報を広く発信することができました。

また、ボランティアグループ「津点訳友の会」の協力を得て、視覚に障がいのある方への支援として、津市が送付する通知文書（封筒）の郵送用点字シールを作成しました。

声の広報発行物及び回数

発行物	発行回数（回）	対象者数（人）
広報津	２４	３８（延５０３）
つ市議会だより	４	２３（延　８５）
つ社協だより	５	２６（延１２５）
暮らしの情報	１２	３５（延３００）

声の広報発行事業の充実

研修名	開催日	開催場所	内容、参加者数
音訳入門講座	5月　8日㈬ 5月15日㈬ 5月22日㈬ 5月29日㈬ 6月　5日㈬ 6月12日㈬ 6月19日㈬ （全７回）	津センターパレス	音訳ボランティアを増やすため、音訳の入門講座を開催しました。講座終了後、参加した５人が「津朗読会」に入会しました。 （参加者数：８人）
音訳技術向上のための自主研修会	4月　3日㈬ 6月　5日㈬ 7月　3日㈬ 8月　7日㈬ 9月　4日㈬ 10月　2日㈬ 11月　6日㈬ 12月　4日㈬ 2月　5日㈬ 3月　5日㈬ （計１０回）	津センターパレス	経験が浅い「津朗読会」の会員に対し、音訳技術の向上を図るための研修会を開催しました。 （参加者数：延５４人）

会員研修会	２月　７日㈮	津センターパレス	音訳経験豊富な外部講師を招き、「津朗読会」の会員に対し、音訳技術向上を図る研修会を実施しました。 （参加者数：１４人）

点字シール作成

実施回数	２回
点字シール数	１５６枚

（５）子育て支援事業

子育て中の親子が地域で孤立することなく安心して暮らせるように交流会や関係機関とのネットワーク会議等を開催し、地域の実状に応じた子育て支援活動を推進しました。

地域名	開催日	開催場所	内容、参加者数
津市 全域	7 月 30 日㈫ 8 月 22 日㈭ 12 月 25 日㈬	津市美里社会福祉センター 津市久居総合福祉会館 津市久居総合福祉会館	子どもの発達に不安のある保護者とその子どもを対象に、音楽療法やゲーム等を通じた交流会「いっぱい笑っていっぱい遊ぼう」を開催しました。 （参加者数：延８２人）
一志	7 月 31 日㈬ 12 月 26 日㈭	津市とことめの里一志	専門職による発達に不安を感じる児童・親への支援を目的とした発達支援勉強会を開催しました。また、「とぎれない支援」に向け、関係機関とのネットワークの構築を行いました。 （参加者数：延２８人）
	7 月　8 日㈪ 10 月 28 日㈪ 1 月 24 日㈮	津市とことめの里一志	個別支援体制の構築や子育て支援に関わる機関・団体同士が繋がり、ともに考える場としての「子育て支援者ネットワーク会議」を開催しました。また、「居場所づくりの見える化」をパンフレットの作成により行いました。 （参加者数：延４２人）

	2 月 25 日㈫	津市とことめの里一志	課題に即した地域の応援団づくりとして「子どもたちの見守りを考える講座」を開催し、関係機関・団体同士の連携強化を図りました。
白山	8 月 23 日㈮	津市白山市民会館	町内で実施された「夏休みキッズ学習支援プロジェクト」において、参加者である学習や生活に不安のある小中学生と地区社協、民生委員・児童委員を繋ぎ、地域の情報共有と実態把握が行われるように支援しました。 （参加者数：延５５人）

（６）備品貸出事業

買い物や通院等の外出のために一時的に車いすが必要となった方を対象とした車いすの貸出しや、地域福祉活動の実施のために必要なレクリエーション用品等の備品の貸出しを行いました。

（単位：件）

車いす貸出件数	２７７
レクリエーション用品等貸出件数	６４

（７）食料支援事業

生活困窮家庭の子どもの生活を支え、子どもの居場所となる子ども食堂等の食料支援団体に、企業等から寄附のあった食品等を提供することにより、団体の活動を支援しました。また、生活困窮世帯に対しても食料支援を実施し、世帯の自立に向けた支援を行いました。

支援団体数：２１団体

食品等提供回数：１０４回

生活困窮者支援回数：２０７回

※地域別の食料提供件数については、巻末資料のとおりです。（Ｐ４４）

２　介護予防事業

（１）介護予防教室（津市受託）

高齢者に対して介護予防や閉じこもり予防のための教室を開催し、地域で自立した生活ができるように支援しました。

ア　転倒予防教室

転倒予防の体操や講話等を実施し、転ばない体づくりを学び、寝たきりになることを予防するための転倒予防教室を開催しました。

開催回数	２７回
参加者数	延１，１１０人

※開催地域及び参加者数については、巻末資料のとおりです。（Ｐ４４）

イ　認知症予防教室

認知症予防の講話やレクリエーション、創作活動等を実施し、認知症の予防についての理解を深めるとともに、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりに向けて、認知症予防教室を開催しました。

開催回数	２８回
参加者数	延５３９人

※開催地域及び参加者数については、巻末資料のとおりです。（Ｐ４４～４５）

ウ　家族介護教室

家族を介護している方、また介護に関心のある方を対象に、介護の知識やリフレッシュ方法を学び、孤立を防ぐための家族介護教室を開催しました。

開催回数	５回
参加者数	延４１人

※開催地域及び参加者数については、巻末資料のとおりです。（Ｐ４５）

３　共同募金配分金事業

地域で協力いただいた赤い羽根共同募金を配分金として、地域福祉推進のために実施する地区社協及び福祉団体の事業に助成を行いました。

地区社協　　２２，７９８，４６０円
福祉団体等（３５団体）　３，６２０，０００円

４　ボランティアセンター事業

（１）ボランティアセンター事業

ア　ボランティアセンターの運営

（ア）ボランティア活動の相談、調整、登録事業

ボランティアに関する相談やボランティアの登録を受け付け、地域の施設や関係団体からのボランティア活動依頼に対するコーディネートを行いました。

相談件数：延７６１件
登録・把握ボランティア団体数：４８０団体
ボランティア登録者数：１４，１９９人

（イ）ボランティア啓発事業

「ぼらん津」、「つ社協だより」を通じてボランティア活動に関する情報提供に努めました。

（ウ）ボランティア団体との連携

津市ボランティア協議会及び各地区ボランティア連絡会と連携し、ボランティア活動を推進しました。

また、企業の社会貢献活動と連携協力して、地域福祉活動を推進しました。

（エ）ボランティア育成・推進事業

ボランティア講座

地域名	開催日	開催場所	内容、参加者数
津市全域	11 月 27 日㈬ 12 月　4 日㈬ 12 月 11 日㈬	津センターパレス	傾聴ボランティア講座 （参加者数：延５５人）
久居	2 月 10 日㈪	津市久居総合福祉会館	ひさい子どもの福祉を考える会 （参加者数：２７人）
河芸	2 月 21 日㈮	津市河芸ほほえみセンター	傾聴ボランティア講座 （参加者数：１７人）
芸濃 美里 安濃	2 月　8 日㈯	津市サンヒルズ安濃	クロスロードゲーム（聴覚障害者編）学習会 ※天候不良により中止となりました。
香良洲	8 月 27 日㈫	東山荘	ボランティア講座～地域とつながるはじめの一歩～ （参加者数：９人）
一志	2 月 25 日㈫	津市とことめの里一志	講座「地域の宝★子どもたちの見守りを考える」 （参加者数：２５人）
白山	6 月　4 日㈫ 7 月　9 日㈫ 8 月　6 日㈫ 9 月　3 日㈫ 10 月 15 日㈫ 11 月　5 日㈫ 12 月　3 日㈫ 1 月　7 日㈫	津市白山保健福祉センター	サロンボランティアリーダー研修 （参加者数：延１２８人）
美杉	12 月 23 日㈪ 1 月　8 日㈬ 2 月 19 日㈬ 2 月 27 日㈭	集会所等	ボランティア講座～受援力を高めよう！～ （参加者数：延３８人）

ボランティア交流会

支部名	開催日	開催場所	内容、参加者数
一志	10 月～3 月	津市とことめの里一志及び津市一志高岡公民館	「ボランティアのつながりづくり」をテーマとし、ボランティア交流会を実施しました。また、地域福祉活動展に向けた準備過程におい

			て話し合いの機会を創出し、団体同士の繋がりを深めました。 （参加者数：延１００人）

（オ）ボランティア活動保険等の窓口業務

安心してボランティア活動が行えるように「ボランティア活動保険」及び「ボランティア行事用保険」を周知・啓発し、保険への加入を斡旋しました。

保険関係手続　５６２件

イ　災害ボランティアセンターの基盤整備、周知・啓発及び災害ボランティアの登録【重点目標３関係】

（ア）災害ボランティアセンター設置・運営訓練

災害発生時に、本会が災害ボランティアセンターを円滑に運営し、「被災者の早期生活再建」を実現するため、津市市民部地域連携課と連携・協働し、ボランティアの支援をうまく受け入れるための受援力の向上をテーマに、ＩＣＴを活用した災害ボランティアセンター設置運営訓練を行いました。

開 催 日：１１月１６日㈯

開催場所：陸上自衛隊久居駐屯地久居訓練場

参加者数：職員６人、津市職員１人、三重県社会福祉協議会職員２人

（イ）災害ボランティアセンター基盤整備

災害ボランティアに関する理解を深めるため、職員向けの災害ボランティア研修会を開催するとともに、津市災害ボランティアセンターマニュアルの改訂作業や関連資機材の整備等に取り組みました。

開 催 日：７月１日㈪

開催場所：津センターパレス

参加者数：職員２１人

（ウ）津市との災害ボランティアセンターに関する連携

災害ボランティアセンターの協定事項や津市地域防災計画、設置運営訓練、委託契約等について、津市市民部地域連携課と協議を行いました。

（エ）災害ボランティアの事前登録制度の運用

平常時から災害に備えるとともに、災害時には関係機関と連携・協働し、災害ボランティア活動による被災地支援が行えるように災害ボランティアの事前登録を行いました。

登録者数：個人登録　１００人、団体登録　５団体（５５人）

（オ）三重県社協災害時広域連携協議会への参画

津市・伊賀市・名張市の３市社会福祉協議会による津伊賀ブロックにて、ブロック内相互連携のための協議を進めるとともに、ブロック内幹事として三重県社協災害時広域連携協議会へ参画し、三重県内各市町社協との災害時相互応援体制並びに災害対応力の強化を進めました。

（カ）能登半島地震被災地支援

令和６年１月に発生した能登半島地震の被災地である輪島市へ、東海ブロックからの応援として本会職員を継続して派遣し、被災地支援を行いました。（派遣職員合計５人。うち令和６年度は３人を派遣）

（２）福祉教育推進事業

地域の福祉課題について考え、地域福祉活動やボランティア活動を通じて子どもたちや地域住民の福祉意識を高める機会を設けました。

ア　福祉出前講座

子どもから高齢者まで幅広い年齢層の地域住民を対象に、福祉意識を高めるための福祉出前講座（延４７回、延１，７７６人）を実施し、障がいのある方との出会い学習や車いす体験、アイマスク体験等を通じて自分たちにできることを考え、福祉意識の向上に努めました。

そして、地域を基盤とした福祉教育推進事業として、地域における課題を地域住民と共有し、課題の解決に向けて住民と共に学びを深める事業を２つの地域で行いました。

また、ユニバーサルデザイン連絡協議会やボランティア団体と連携し、各種講座を実施し、ユニバーサルデザインの啓発に努めました。

福祉出前講座

地域名	件数	対象	主な内容
津	１５	小学生 中学生 地域住民	・車いす体験、アイマスク体験 ・高齢者体験 ・ユニバーサルデザイン講座 ・車いすツインバスケットボール体験 ・人権について ・ボランティア活動について
久居	7	小学生 中学生 高校生 地域住民	・車いす体験、アイマスク体験 ・点字体験 ・聴覚障がい体験 ・高齢者体験 ・妊婦体験
河芸	5	小学生	・車いす体験、アイマスク体験 ・ユニバーサルデザイン講座 ・視覚障がい者との出会い学習 ・音訳グループとの出会い学習 ・認知症キッズサポーター養成講座
芸濃	4	小学生 中学生	・車いす体験、アイマスク体験 ・車いすツインバスケットボール体験 ・視覚障がい者との出会い学習 ・赤い羽根共同募金について

安濃	3	小学生 地域住民	・車いす体験 ・障がいスポーツボッチャ体験 ・講話、聴覚障がい体験
香良洲	1	小学生	・ユニバーサルデザイン講座 ・車いす体験
一志	9	小学生 高校生	・車いす体験 ・ボランティア学習 ・赤い羽根共同募金について ・各種疑似体験とふくしの出会い学習 ・認知症サポーター養成講座
白山	1	地域住民	・車いす体験 ・高齢者への接遇、見え方・聞こえ方体験
美杉	2	小学生 地域住民	・車いす体験 ・介護予防、認知症について

地域を基盤とした福祉教育推進事業

地域名	開催日	主な内容
河芸	11 月 16 日㈯	小学校のフェスティバルにて、小学生や保護者、地域住民を対象に、赤い羽根共同募金の啓発（赤い羽根を使ったコースターづくり）
芸濃 美里 安濃	7 月 25 日㈭	圏内の福祉協力校担当教員を対象とした、福祉教育推進研修会の開催（車いすツインバスケットボール体験）

イ　福祉教育推進会議

地域の実状に応じた福祉教育推進会議を開催し、学校関係者との連携の強化に努めました。

地域名	開催日	開催方法	参加校数又は訪問校数
津	5 月 16 日㈭ 5 月 17 日㈮	オンライン開催	参加校数：１８校 （小学校１０校、中学校６校、高等学校２校）
久居	4 月 11 日㈭ 4 月 23 日㈫ 4 月 25 日㈭	訪問形式	訪問校数：１３校 （小学校７校、中学校３校、高等学校２校、特別支援学校１校）
河芸	6 月 18 日㈫	会議形式	参加校数：５校 （小学校４校：中学校１校）

芸濃	5 月 24 日㈮	オンライン開催	参加校数：３校 （小学校２校、中学校１校）
美里			参加校数：１校 （義務教育学校１校）
安濃			参加校数：５校 （小学校４校、中学校１校）
香良洲	5 月 14 日㈫ 5 月 16 日㈭	訪問形式	訪問校数：２校 （小学校１校、中学校１校）
一志	4 月～5 月	訪問形式	訪問校数：４校 （小学校２校、中学校１校、高等学校１校）
白山	4 月～6 月	訪問形式	訪問校数：７校 （小学校５校、中学校１校、高等学校１校）
美杉	5 月　9 日㈭ 5 月 14 日㈫	訪問形式	訪問校数：２校 （小学校１校、中学校１校）

ウ　福祉協力校の指定

体験学習やボランティア活動を通じて社会福祉への理解と関心を深めるため、津市内の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校を対象とし、申請があった学校を「福祉協力校」に指定して助成金を交付しました。福祉協力校では、社会福祉に関わる取組みが行われ、社会福祉への理解と関心が高まりました。

（単位：校）

	小学校	中学校	高等学校	義務教育学校	特別支援学校	合計
指定校数	４６	１６	６	２	３	７３

※福祉協力校名は、巻末資料のとおりです。（Ｐ４５～４６）

５　福祉基金・資金事業

津市社会福祉基金の運用益等を各種事業の財源として活用することにより、社会福祉事業の振興と地域社会における福祉の増進を図りました。

また、津市地域福祉資金を原資として、各地区社協の主催事業、共催事業及び地区社協の二次的な助成事業に助成することにより、地域福祉活動の振興を図りました。

６　まん中老人福祉センター事業（津市指定管理）

津市まん中老人福祉センターの管理運営を通じ、高齢者の健康増進、教養の向上及びレクリエーションの場を提供しました。

本年度は、新型コロナウイルス感染症も落ち着きましたが、引き続き利用者には

検温や手指消毒、マスクの着用等の基本的な感染予防をお願いするとともに、使用した器具等の消毒を行うことにより、安心してより多くの方に利用していただけるように努めました。

開 館 日 数：２９１日（月～土曜日　休館：日曜・祝日・年末年始）

利用者総数：延７，２８３人（１日平均２５人）

内容	実績
教養娯楽室（ヘルストロン、マッサージ機他）	延５，３３７人
相談室（囲碁）	延４５８人
集会室（卓球）	延９０９人
カラオケ室（カラオケ）	延１，２７０人
和室（バンパー・休憩・歓談）	延３１１人
まん中さわやか教室	（１２回、毎月第１火曜日）　延９２人
けんこうチェック	（看護師相談２３回、毎月第１・３火曜日）延６３人

７　生活支援ハウス運営事業（津市受託）

美杉生活支援ハウスにおいて、津市内に住所を有する高齢者に対し、住居機能や生活支援、交流の機会を提供することで、健康で明るい生活が送れるように支援しました。

利用者数：月平均４．６人

８　生活支援体制整備事業（津市受託）【重点目標２関係】

地域住民や関係機関・団体等からの相談に対し、適切なサービスに繋げるように対応を行いました。ニーズに対するサービスが無い場合等は、ともに考え、地域における話し合いの場等へ問題提起を行い、調整した後も状況に応じて適切な関わりに努めました。

また、住民組織だけでなく企業の社会貢献等とも連携をし、地域のニーズとサービスをマッチングする等、高齢者の生活の選択肢を広げる働きかけを進めました。

内容	実績
生活支援コーディネーター通信の発行	１３回
地域支援回数	第１層（津市全域）３７７回 第２層（日常生活圏域）１，９０９回
地域ケア会議への出席	第１層３５回、第２層５６回 （１・２層間、２層間の重複あり）
地域包括支援センターと生活支援コーディネーターの情報交換会の開催	２５回

地域の「話し合いの場」への参加	第１層４０回、第２層６６回 （１・２層間の重複あり）
生活支援体制整備事業研修会の開催	開 催 日：１１月２６日㈫ 開催場所：津市高茶屋市民センター テ ー マ ：高齢になっても暮らし続けるために～支え合いのまちづくりにおける関係機関との連携・役割について～ （参加者数：４３人）

９　ふれあいいきいきサロン事業（津市受託）

（１）ふれあい・いきいきサロン活動支援

地域住民が主体的に行うふれあい・いきいきサロンが、高齢者や障がい者、子育て中の親子等、誰もが楽しく気軽に行ける「地域の居場所」として開催され、交流や介護予防、地域の絆づくり及び見守り活動に繋がるように支援しました。

また、地域のサロン活動が円滑に実施できるように、情報提供や地域課題の共有を行う等、サロン関係者を支援しました。

地域名	本会把握 サロン数	活動運営助成金 申請サロン数	新規立上助成 申請サロン数
津	８７	７３	３
久居	６２	４１	０
河芸	２９	８	２
芸濃	２５	１５	１
美里	１３	１３	３
安濃	２３	２１	０
香良洲	７	４	０
一志	１６	９	０
白山	２３	１０	０
美杉	３５	２７	１
合計	３２０	２２１	１０

（２）ふれあい・いきいきサロン

本会事業としてふれあい・いきいきサロンを５支部地域で開催しました。

（単位：回／人）

	芸濃	香良洲	一志	白山	美杉	合計
回数	９７	１８７	２４	６０	１３４	５０２
参加者数	５７９	２，０５２	４４８	９３８	７７１	４，７８８

（３）ふれあい・いきいきサロン講習会

ふれあい・いきいきサロンに携わる方たちが、より主体的で活発な活動ができるように、サロンで使えるレクリエーションを学べる講習会を開催しました。

研修名	開催日	開催場所	内容、参加者数
サロン講習会～フレイル予防とレクリエーションを学ぼう～	11 月 18 日(月) 11 月 20 日(水)	津市久居総合福祉会館 津市白塚市民センター	・フレイル予防の講演 講師:津市健康福祉部 保健医療助成課　職員 ・サロンで使えるレクリエーション 講師：三重県レクリエーション協会 伊藤準康　氏 佐脇重喜　氏 (参加者数：延７５人)

１０　地域福祉活動推進事業（津市受託）【重点目標２関係】

地域福祉活動の基盤となる地区社協の運営及び事業が円滑に行われるように助成金の交付を行い、地域福祉活動の安定した運営を図るとともに、高齢者の社会参加を通じた健康づくり・介護予防を促進しました。

１１　物品販売事業

（１）自動販売機設置事業

自動販売機の売上による収益は、１，９０６，４８９円ありました。収益金は、地域福祉事業の財源に充てるため、社会福祉事業区分へ繰り入れました。

公共施設等への自動販売機の設置　　２３台（１４か所）

Ⅲ　生活支援事業

１　日常生活自立支援事業（三重県社会福祉協議会受託）【重点目標４関係】

津日常生活自立支援センターとして、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等の判断能力が十分でない方を対象に、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理等の援助を行いました。

支部別利用者数及び支援回数

	生活支援課	久居	合計
利用者数（人）	２５３	９６	３４９
年間支援回数（回）	６，２５６	２，０６４	８，３２０

相談件数（問い合わせ・初回相談・相談援助）　（単位：件）

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
問い合わせ	１０５	４０	７５	１８	２３８
初回相談	５８	２８	５０	４	１４０
相談援助	２，１６５	２，４１４	３，６６３	１５	８，２５７
合計	２，３２８	２，４８２	３，７８８	３７	８，６３５

三重県社会福祉協議会等の研修会等への参加

研修名	開催日	開催場所	内容、参加者数
新任専門員研修会	5 月 22 日㈬	三重県社会福祉会館	・日常生活自立支援事業の概要・支援の流れや使用する様式について ・契約締結判定ガイドラインの取り方について （参加者数：職員３人）
第１回専門員情報・意見交換会	6 月 13 日㈭	三重県社会福祉会館	・情報・意見交換 （参加者数：職員３人）
第１回専門員連絡会議	8 月 30 日㈮	三重県社会福祉会館	・利用料金の改訂について ・カスハラ対策にかかる契約書の見直しについて （参加者数：職員３人）
専門員資質向上研修会	10 月 16 日㈬	オンライン開催	・講義「ハラスメント行為の定義と概要」 ・講義「ハラスメント行為に対する対応」 （参加者数：職員２人）

専門員実践力強化研修会	10 月 17 日㈭ 31 日㈭ 11 月 21 日㈭	オンライン開催	・基本研修・事例検討 （参加者数：職員１人）
第２回専門員情報・意見交換会	11 月 19 日㈫	オンライン開催	・情報・意見交換 （参加者数：職員３人）
生活支援員等研修会	12 月 12 日㈭	オンライン開催	・講義「認知症のきざしと症状、その対応について」 （参加者数：職員２４人）
第２回専門員連絡会議 第３回専門員情報・意見交換会	2 月 27 日㈭	オンライン開催	・契約締結審査会の審査要件について他 ・情報・意見交換 （参加者数：職員３人）

２　生活福祉資金貸付事業（三重県社会福祉協議会受託）

低所得世帯・高齢者世帯・障がい者世帯に対する生活福祉資金の貸付と、生活困窮者自立相談支援機関や民生委員・児童委員と協働して必要な援助・指導を行い、安定した生活を送れるように支援しました。

（１）生活福祉資金貸付事業

教育資金貸付により生徒・学生の就学を支援し、福祉資金貸付により世帯の一時的な資金需要に対応し借受世帯の生活が安定するように支援しました。

また、借受世帯に対して貸付金の適切な償還が行えるよう、世帯状況に応じて相談支援を行いました。

（２）生活福祉資金特例貸付事業

令和２年３月２５日から令和４年９月３０日まで申請受付をした、新型コロナウイルス感染症拡大にともなう特例貸付の償還が遅れている世帯に対し、三重県社会福祉協議会とともに訪問面談を実施し、不在の世帯には相談を促す案内文書を送付しました。

世帯状況に応じて償還が困難と思われる世帯には償還免除申請や償還猶予申請を促し、償還が可能と思われる世帯に対しては適切な償還が行えるように指導し、世帯の生活が安定するように支援しました。

通常相談件数及び貸付件数（単位：件）

相談件数	２５４
貸付件数	６１

※地域別の相談件数及び貸付件数は、巻末資料のとおりです。（Ｐ４６）

コロナ特例貸付債権状況　（単位：件）

資金種別	総貸付件数	償還完了件数	残件数
緊急小口資金	１，５４４	９１９	６２５
総合支援資金（初回）	１，０１３	４４２	５７１

総合支援資金（延長）	１８７	６３	１２４
総合支援資金（再貸付）	２７４	７３	２０１
合計	３，０１８	１，４９７	１，５２１

三重県社会福祉協議会主催の研修会へ参加

研修名	開催日	開催場所	内容、参加者数
第１回生活福祉資金貸付事業担当職員研修会	4 月 22 日㈪	三重県社会福祉協議会	・生活福祉資金貸付事務について（新任職員向け）（参加者数：職員５人）
緊急小口資金等特例貸付償還免除申請説明会	5 月 29 日㈬	オンライン開催	・生活福祉資金コロナ特例貸付償還免除申請について（参加者数：職員５人）
第２回生活福祉資金貸付事業担当職員研修会	12 月　9 日㈪	三重県社会福祉協議会	・窓口での相談対応について（参加者数：職員４人）
生活福祉資金貸付事業説明会	12 月 18 日㈬	オンライン開催	・生活福祉資金貸付事業における民生委員の役割について（参加者数：職員１人）

事業啓発活動

研修名	開催日	開催場所	内容、参加者数
学校へ行こう！ｉｎ津市	9 月 21 日㈯	津市中央公民館	・教育資金について（参加者数：６３人）
津市民生委員児童委員連合会会長会議	12 月 25 日㈬	サンワーク津	・生活福祉資金貸付における民生委員の役割について（参加者数：２１人）
西郊第一地区民生委員児童委員協議会定例会	2 月　1 日㈯	津市安東コミュニティセンター	・生活福祉資金貸付における民生委員の役割について（参加者数：３０人）
南郊第二地区民生委員児童委員協議会定例会	2 月　6 日㈭	津市高茶屋市民センター	・生活福祉資金貸付における民生委員の役割について（参加者数：３４人）

３　自立相談支援事業（津市受託）【重点目標４関係】

複合的な課題を抱えた方の相談に応じ、各々の抱える課題を包括的に把握するとともに、その置かれている状況や本人の意思を十分に確認し、一人ひとりの状況に合わせた支援計画を作成しました。専門の支援員が寄り添いながら、関係機関等と連携して、問題解決に向け支援を行いました。

また、地域全体での支援体制づくりの推進に向け、関係機関に事業説明を行い、周知を図りました。

支援件数

延相談件数	新規相談実人員数	プラン作成件数
４，８１９件	６７２人	３０件

全国・県・市等の関係機関研修会への参加

研修名	開催日	開催場所	内容、参加者数
津公共職業安定所 津地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	6 月 21 日㈮	津公共職業安定所	・令和５年度の支援概況について ・令和６年度の目標設定について （参加者数：職員２人）
三重県こころの健康センター 令和６年度第１回三重県ひきこもり支援ネットワーク会議	9 月 25 日㈬	三重県津庁舎	・三重県ひきこもり地域支援センターの事業概要 ・「三重県ひきこもり支援推進計画」の改定等について ・意見交換「各市町の窓口における現状と課題について」 （参加者数：職員１人）
生活困窮者自立支援全国ネットワーク 第１１回生活困窮者自立支援全国研究交流大会全体会	11 月　9 日㈯ 11 月 10 日㈰	東海市芸術劇場 日本福祉大学東海キャンパス	・第１部「人が元気になるために―支援と解決、いやしについて考える―」 ・第２部「知っていますか？改正生活困窮者自立支援法のポイント」 ・第３部「こどもと家族と今とこれから 困窮者支援から見る少子化政策」 ・分科会２　「改めて考える生活困窮者自立支援制度で子ども・若者にどう支援ができるのか？」 ・分科会７　「法改正に伴う居住支援のこれから―『居住サポート住宅』の実現に向けて―」 （参加者数：職員１人）

三重県こころの健康センター 令和６年度依存症に関する講演会	12 月 20 日㈮	三重県津庁舎	・依存症について あなたが大切な人のためにできること～ギャンブル・スマホ（オンラインゲーム・ＳＮＳ）・アルコール・薬物依存の理解と対応～ （参加者数：職員１人）
全国精神保健福祉センター長会ひきこもり支援検討委員会 ひきこもり相談支援実践研修会Ｄ研修	1 月 23 日㈭	オンライン開催	・「ひきこもりの基礎理解」「ひきこもり相談への対応と支援」及び事例紹介 ・「中高年層のひきこもりについて」「８０５０問題について」及び事例紹介 ・ひきこもりＱ＆Ａ・まとめ （参加者数：職員１人）
全国社会福祉協議会 若年層が抱える課題とその支援	2 月　3 日㈪	オンライン開催	・講義「研修のねらいと構成」 ・講義「若年層が抱える生活課題の特性について」 ・講義「若年層への支援の実際とポイント①②」 ・実践報告「若年層への支援における生活困窮者自立支援制度の役割」 ・参考教材「生活困窮者支援における子どもと家族支援」 ・参考教材「つながりにくい相談者への支援」 （参加者数：職員１人）
三重県 令和６年度生活困窮者自立支援制度に係る主任相談支援員意見交換会	2 月　6 日㈭	三重県社会福祉会館	・相談支援員等の人材育成について ・居住支援について ・就労支援について ・今後の研修のあり方等について （参加者数：職員１人）
全国社会福祉協議会 若年層が抱える課題とその支援	2 月　7 日㈮	オンライン開催	・実践報告・事例提供 ・演習 ・講義 （参加者数：職員１人）

生活困窮者自立支援全国ネットワーク 基本的な支援プロセスの手続き	2 月 25 日㈫	オンライン開催	・業務支援ツールの使い方について （参加者数：職員１人）
三重県 令和６年度生活困窮者自立支援制度に係る主任相談支援員意見交換会	3 月　4 日㈫	三重県社会福祉会館	・相談支援のプロセスについて ・他機関、他事業との連携について ・次年度以降の研修企画委員会について ・その他 （参加者数：職員１人）

事業啓発活動

研修名	開催日	開催場所	内容、参加者数
居宅介護支援事業所合同勉強会	6 月 18 日㈫	長谷山寮	生活困窮者支援で介護支援専門員としてすべきこと・できること （参加者数：１１人）
津市児童虐待防止等ネットワーク事例会議	9 月 18 日㈬	津リージョンプラザ	虐待対応と関係者の支援 （参加者数：５人）
生活困窮自立相談支援事例検討会議	10 月 24 日㈭	津市サンヒルズ安濃	年金だけで生活する母と精神疾患のある子の支援 （参加者数：７人）
津中部南地域包括支援センター 津久居地域包括支援センター 介護支援専門員研修会	10 月 30 日㈬	津市久居総合福祉会館	経済・生活等に困っている世帯への援助の仕組み等 （参加者数：３６人）
三重県・津市 令和６年度津市民間賃貸住宅相談会	11 月 30 日㈯	津リージョンプラザ	住まい探しの困りごとの相談と民間賃貸住宅の情報提供 （参加者数：９人）
津中部中地域包括支援センター 高齢者の生活を考える研究会	12 月 19 日㈭	津市北部市民センター	生活困窮者自立支援制度とは （参加者数：２２人）

居宅介護支援事業所合同勉強会	1月17日㈮	第二岩崎病院	生活困窮者自立支援制度と制度を利用した事例 （参加者数：１２人）

みえ福祉の「わ」創造事業　（単位：件）

緊急食糧提供事業	１２４
緊急時物品等支援事業	8
就労活動支援事業	0

※地域別の緊急食糧提供件数は、巻末資料のとおりです。（Ｐ４６）

４　家計改善支援事業（津市受託）【重点目標４関係】

家計に問題を抱えている生活困窮者等からの相談に応じ、必要な情報提供や専門的な助言・指導等を行い、早期に家計が改善されるように支援しました。

また、自立支援機関等の関係機関と連携し、相談者の課題解決に向け共に取り組みました。

支援件数　（単位：件）

相談件数	申込件数	プラン作成件数	プラン終了件数	継続支援件数
１７	8	１３	１２	１６

支援回数　（単位：回）

来所	訪問	電話	合計
９３	１７３	１７３	４３９

５　成年後見サポートセンター事業（津市受託）【重点目標４関係】

認知症や障がいがあっても住み慣れた地域で安心した生活が送れるように、成年後見制度に関する相談に対応し、成年後見制度を利用するための手続き、申立の援助、法人後見事務、地域ネットワーク体制づくりを行いました。

また、既存の津市成年後見サポートセンター運営委員会を改編し、法人後見委員会、中核機関委員会、津市地域連携ネットワーク協議会を設置し、委員会運営を行いました。

相談援助及び普及啓発の状況　（単位：件）

相談援助	申立援助 （実件数）	普及啓発活動 （中核機関含む）	法人後見人等受任
５５８	６９	7	１１（後見人５、保佐人４、補助人２）

後見人支援及び地域連携ネットワーク体制づくりの状況

（単位：件）

後見人支援 （延件数）	地域連携ネットワーク体制づくり
１１４	１９

法人後見委員会

回数	開催日	審議事項及び協議事項
第１回	5 月　9 日㈭	・委員長、副委員長選任について ・法人後見類型変更申立について ・法人後見と市民後見人養成の在り方について （出席委員：６人）
第２回	8 月　8 日㈭	・法人後見受任審議について （出席委員：６人）
第３回	11 月　7 日㈭	・法人後見類型変更申立について ・法人後見支援状況について （出席委員：６人）
第４回	2 月 13 日㈭	・法人後見受任審議について ・法人後見人等計画書について （出席委員：６人）

中核機関委員会

第１回	6 月　6 日㈭	・委員長、副委員長選任について ・委員会での検討事項について （出席委員：５人）
第２回	9 月 19 日㈭	・処遇困難ケース検討（２件） （出席委員：５人）
第３回	12 月 10 日㈫	・処遇困難ケース検討（２件） （出席委員：６人）
第４回	3 月　6 日㈭	・令和６年度第２回津市地域連携ネットワーク協議会の報告について ・津市成年後見制度利用支援事業について ・令和７年度中核機関委員会について （出席委員：５人）

津市地域連携ネットワーク協議会

第１回	７月 11 日㈭	・委員長、副委員長選任について ・津市成年後見制度利用促進に係る中核機関の運営方針（案）について （出席委員：１１人）
第２回	１月　９日㈭	・令和６年度中核機関委員会の報告について ・令和７年度中核機関事業（案）について （出席委員：１３人）

Ⅳ　介護サービス事業

１　訪問介護事業

北部事業所、白山事業所において、津市全域を対象に、利用者の自立に向けた支援として、身体介護や生活援助のサービスを実施しました。

特に中山間地域・過疎地域にあたる白山・美杉地域では、住民からの期待も大きいため、積極的な支援に努めました。

事業所別利用延回数　（単位：回）

	北部	白山	美杉サテライト	合計
要介護	５，８５６	６，０９３	３，１２７	１５，０７６
要支援	３２４	１８８	２２０	７３２
合計	６，１８０	６，２８１	３，３４７	１５，８０８

介護度別利用延回数

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要支援	合計
利用回数（件）	6,772	3,300	2,760	860	1,384	732	15,808
割合（%）	42.8	20.9	17.5	5.4	8.8	4.6	100

２　障がい者居宅介護等事業

（１）介護給付事業

北部事業所、白山事業所において、障がいのある方が住み慣れた地域で自分らしい自立した生活が送れるように、居宅介護・同行援護の支援を行いました。

事業所別利用延回数　（単位：回）

	北部	白山	合計
居宅介護	２，２９０	８５５	３，１４５
同行援護	５５２	１０	５６２
合計	２，８４２	８６５	３，７０７

（２）地域生活支援事業（市町受託）

北部事業所、白山事業所において、障がいのある方に外出のための移動支援を行いました。

事業所別利用延回数　（単位：回）

	北部	白山	合計
移動支援	５９	７４３	８０２

３　居宅介護支援事業

北部事業所、白山事業所、美杉事業所において、介護サービス利用者の介護状態に応じて、利用者や家族の意向に沿った居宅サービス計画を作成しました。

事業所別居宅サービス計画作成件数　（単位：件）

	北部	白山	美杉	合計
居宅サービス計画	１，０６２	２,１３５	１,４２７	４，６２４
介護予防サービス計画	２２７	４９９	２４１	９６７
合計	１，２８９	２,６３４	１,６６８	５，５９１
介護支援専門員 １人当たりの担当件数	２７．４	３１．４	３４．８	３１．２

介護度別利用件数

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要支援	合計
利用件数（件）	2,101	1,357	637	340	189	967	5,591
割合（%）	37.6	24.2	11.4	6.1	3.4	17.3	100

４　地域包括支援センター事業（津市受託）【重点目標４関係】

津北部東及び津一志地域包括支援センターにおいて、高齢者が住み慣れた自宅や地域で生活できるように、介護・福祉・保健・医療等の関係機関や地域の関係者と連携を強化し、包括的な支援に努めました。

内容別相談件数　（単位：件）

	介護相談	介護保険サービス		その他のサービス	ケアマネジメント等	虐待・権利擁護	医療・認知症	その他	合計
		介護	予防						
津北部東	744	370	203	8	2	64	74	147	1,612
津一志	433	449	241	49	170	49	78	236	1,705
合計	1,177	819	444	57	172	113	152	383	3,317

形態別相談件数　（単位：件）

	来所	訪問	電話	その他	合計
津北部東	２６６	３３０	９９５	２１	１，６１２

津一志	２１３	７７２	７１８	２	１，７０５
合計	４７９	１，１０２	１，７１３	２３	３，３１７

会議等による地域連携・多職種連携等の件数　（単位：件）

	地域ケア会議	介護予防普及啓発事業	介護支援専門員支援研修	認知症関係事業	地域連携・ネットワーク会議	その他	合計
津北部東	９	１０	３	２１	０	５	４８
津一志	９	１２	２	９	７	２	４１
合計	１８	２２	５	３０	７	７	８９

介護予防プラン作成件数　（単位：件）

	作成件数	委託件数	合計
津北部東	２６６	２，０４２	２，３０８
津一志	６１０	３，２４５	３，８５５
合計	８７６	５，２８７	６，１６３

５　要介護認定調査事業（津市受託）

津市の指定市町事務受託法人として、調査の正確性や公平性の確保に努め、津市全域の認定調査を実施しました。

申請件数が高止まりしている状況の中、津市からの依頼に対応するため、法人全体での業務応援等も行い、要介護認定の遅れの解消に努めました。

（単位：件）

	件数
津市からの委託	１４，１１４
他市町村及び広域連合	２８０
合計	１４，３９４

＜巻末資料＞

Ⅰ　法人運営事業

１　法人運営事業
（１）法人運営事業
Ｐ３
　ア　理事会・評議員会等の開催
各理事会における審議事項等

回数	開催日	審議事項等
第１回	４月 23 日㈫	・社会福祉法人津市社会福祉協議会第１回評議員会の招集について
第２回	６月　５日㈬	・社会福祉法人津市社会福祉協議会常務理事の選任について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会第１回評議員選任・解任委員会の招集について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について ・令和５年度社会福祉法人津市社会福祉協議会事業報告及び決算報告について ・令和６年度社会福祉法人津市社会福祉協議会補正予算（第１号）について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会第２回評議員会の招集について
第３回	９月 12 日㈭	・社会福祉法人津市社会福祉協議会会長の職務執行状況の報告について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会常務理事の職務執行状況の報告について ・令和６年度社会福祉法人津市社会福祉協議会補正予算（第２号）について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会第３回評議員会の招集について
第４回	12 月　９日㈪	・令和６年度社会福祉法人津市社会福祉協議会補正予算（第３号）について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会第４回評議員会の招集について

第５回	12 月 27 日㈮	・社会福祉法人津市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について
第６回	3 月 13 日㈭	・社会福祉法人津市社会福祉協議会会長の職務執行状況の報告について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会常務理事の職務執行状況の報告について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会就業規則の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会津市再任用職員就業規則の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会臨時職員就業規則の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会登録ヘルパー就業規則の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会職員の定年等に関する規程の一部改正について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会経理規程の一部改正について ・令和６年度社会福祉法人津市社会福祉協議会補正予算（第４号）について ・令和７年度社会福祉法人津市社会福祉協議会事業計画について ・令和７年度社会福祉法人津市社会福祉協議会当初予算について ・社会福祉法人津市社会福祉協議会第５回評議員会の招集について

理事会出席者数　　（単位：人）

回数	理事			監事		
	出席者数	欠席者数	欠員数	出席者数	欠席者数	欠員数
第１回	１０	0	0	2	0	0
第２回	１０	0	0	2	0	0
第３回	9	1	0	1	1	0
第４回	１０	0	0	2	0	0
第５回	１０	0	0	2	0	0

第６回	9	1	0	2	0	0

Ｐ３

各評議員会における審議事項等

回数	開催日	審議事項等
第１回	5 月 27 日(月)	・社会福祉法人津市社会福祉協議会理事の選任について
第２回	6 月 25 日(火)	・令和５年度社会福祉法人津市社会福祉協議会事業報告及び決算報告について ・令和６年度社会福祉法人津市社会福祉協議会補正予算（第１号）について
第３回	9 月 26 日(木)	・令和６年度社会福祉法人津市社会福祉協議会補正予算（第２号）について
第４回	12 月 23 日(月)	・令和６年度社会福祉法人津市社会福祉協議会補正予算（第３号）について
第５回	3 月 24 日(月)	・令和６年度社会福祉法人津市社会福祉協議会補正予算（第４号）について ・令和７年度社会福祉法人津市社会福祉協議会事業計画について ・令和７年度社会福祉法人津市社会福祉協議会当初予算について

評議員会出席者数　（単位：人）

回数	評議員			監事		
	出席者数	欠席者数	欠員数	出席者数	欠席者数	欠員数
第１回	１４	0	1	－	－	－
第２回	１０	4	1	2	0	0
第３回	１１	3	1	1	1	0
第４回	１３	1	1	1	1	0
第５回	１１	3	1	2	0	0

Ⅱ　地域福祉事業

１　地域福祉推進事業
（７）　食料支援事業
Ｐ１９
食料提供地域別件数　（単位：件）

	津	久居	河芸	芸濃	美里	安濃	香良洲	一志	白山	美杉	合計
食料提供事業	172	26	0	0	0	1	0	5	3	0	207

２　介護予防事業
（１）介護予防教室
Ｐ２０
ア　転倒予防教室
開催地域及び参加者数　（単位：人）

開催日	開催地域	参加者数	開催日	開催地域	参加者数
4 月 25 日㈭	津	８５	9 月 26 日㈭	美杉	２２
5 月 23 日㈭	美里	１１	10 月 24 日㈭	津	７５
5 月 23 日㈭	津	８２	10 月 24 日㈭	香良洲	１８
6 月　6 日㈭	安濃	１７	11 月 14 日㈭	芸濃	２０
6 月 27 日㈭	津	６８	11 月 20 日㈬	久居	7
7 月 11 日㈭	香良洲	１４	11 月 22 日㈮	白山	１９
7 月 12 日㈮	河芸	１２	11 月 22 日㈮	美杉	２０
7 月 18 日㈭	久居	１４	11 月 28 日㈭	津	７１
7 月 25 日㈭	津	７８	12 月 19 日㈭	津	６０
8 月　8 日㈭	香良洲	２２	1 月 23 日㈭	津	７６
8 月 22 日㈭	津	６５	2 月 13 日㈭	安濃	7
9 月　4 日㈬	一志	１７	2 月 27 日㈭	津	６５
9 月 12 日㈭	香良洲	１５	3 月 27 日㈭	津	７５
9 月 26 日㈭	津	７５			

Ｐ２０
イ　認知症予防教室
開催地域及び参加者数　（単位：人）

開催日	開催地域	参加者数	開催日	開催地域	参加者数
4 月 19 日㈮	津	１９	10 月 21 日㈪	白山	１８
4 月 26 日㈮	香良洲	１７	10 月 30 日㈬	安濃	１３

5月17日㈮	津	１９	11月　6日㈬	一志	２５
6月　5日㈬	一志	２８	11月15日㈮	津	１８
6月　6日㈭	香良洲	２４	11月22日㈮	河芸	１８
6月21日㈮	津	２０	12月　6日㈮	河芸	１５
7月11日㈭	芸濃	２８	12月　9日㈪	白山	２１
7月19日㈮	津	１６	12月13日㈮	美里	１８
8月16日㈮	津	１０	12月20日㈮	津	１７
8月20日㈫	美杉	３３	1月17日㈮	津	１６
9月11日㈬	美里	１５	1月29日㈬	久居	１７
9月19日㈭	久居	１１	1月30日㈭	芸濃	３１
9月20日㈮	津	１５	2月21日㈮	津	２０
10月18日㈮	津	１８	3月21日㈮	津	１９

Ｐ２０

ウ　家族介護教室

開催地域及び参加者数　（単位：人）

開催日	開催地域	参加者数	開催日	開催地域	参加者数
8月　3日㈯	津	3	12月11日㈬	安濃	１３
9月　7日㈯	河芸	１２	1月　8日㈬	白山	7
11月13日㈬	香良洲	6			

４　ボランティアセンター事業

（２）福祉教育推進事業

Ｐ２５

ウ　福祉協力校の指定

福祉協力校名

小学校			
養正小学校	一身田小学校	栗葉小学校	明合小学校
修成小学校	白塚小学校	榊原小学校	香良洲小学校
南立誠小学校	栗真小学校	立成小学校	一志東小学校
北立誠小学校	片田小学校	上野小学校	一志西小学校
敬和小学校	大里小学校	黒田小学校	家城小学校
育生小学校	高野尾小学校	千里ヶ丘小学校	川口小学校
新町小学校	西が丘小学校	豊津小学校	大三小学校
藤水小学校	豊が丘小学校	芸濃小学校	倭小学校
高茶屋小学校	誠之小学校	明小学校	八ツ山小学校
神戸小学校	成美小学校	草生小学校	美杉小学校

安東小学校 櫛形小学校	桃園小学校 戸木小学校	村主小学校 安濃小学校	（４６校）
中学校		高等学校	義務教育学校
橋北中学校 橋南中学校 南郊中学校 西郊中学校 一身田中学校 一身田中学校国児分校 セントヨゼフ女子学園中学校 久居中学校 久居西中学校 久居東中学校 朝陽中学校 芸濃中学校 香海中学校	一志中学校 白山中学校 美杉中学校 （１６校）	セントヨゼフ女子学園高等学校 高田高等学校 久居高等学校 久居農林高等学校 一志学園高等学校 白山高等学校 （６校）	みさとの丘学園（前期課程） みさとの丘学園（後期課程） （２校） 特別支援学校 聾学校 盲学校 稲葉特別支援学校 （３校）

Ⅲ　生活支援事業

２　生活福祉資金貸付事業

Ｐ３０

通常相談件数及び貸付件数　（単位：件）

	津	久居	河芸	芸濃	美里	安濃	香良洲	一志	白山	美杉	合計
相談件数	205	30	8	1	0	0	0	2	8	0	254
貸付件数	55	2	0	0	0	0	0	0	4	0	61

Ｐ３５

食料提供地域別件数　（単位：件）

	津	久居	河芸	芸濃	美里	安濃	香良洲	一志	白山	美杉	合計
福祉の「わ」	76	25	5	3	2	3	2	6	2	0	124